

【答弁書】

平成27年門真市議会第3回定例会

質 問 者	戸田議員		
通告順位	17	項目番号	1 － (1)(2)
件 名	1. 門真警察の仕事ぶり検証なしの「安全・安心の行政」について (1) 門真警察の仕事ぶりに疑問を感じるいくつかの実例について (2) 犯罪の抑止・検挙を職責とする警察への検証抜きで「啓発拝聴」一方の今までの「安全・安心行政」のあり方の改善について		
起 案 者	市民生活部 地域活動課 小野 義幸 内線 3010		

＝作成要領＝

- 1 最初の書き出しは、「〇〇〇〇についてであります。」から書くこと。
- 2 段落と段落との間は、1行空けること。
- 3 金額表示など桁数の多い数字は、「億」、「万」等の単位で表記すること。
- 4 誤字、脱字を十分チェックするとともに、「専門用語」や「読み間違い易い語」には「ふりがな」を付けること。
- 5 まとまりのある言葉(特に面積などを表示する数字)は、途中で改行しないこと。
- 6 項目番号欄には、質問通告一覧表の「質問要旨」の項目番号を記入すること。
- 7 答弁書は本トジとすること。ただし、答弁書が1枚に収まる場合は、両面コピーとすること。

戸田議員ご質問のうち、一部につきまして私より御答弁申し上げます。

門真警察の仕事ぶり検証なしの「安全・安心の行政」についてであります。

まず、ここ2～3年、「警察に関する苦情や相談」は、市にどれくらい、どういう内容で寄せられているかについてであります。平成25年度（2013年度）0件、26年度（2014年度）2件、27年度（2015年度）9月17日現在で4件あり、内容につきましては、個人情報があり詳細はお答えできませんが、運転免許試験場や警察官の対応についてでありました。

次に、市は門真警察に何か働きかけているかについてであります。適宜、情報提供等を行うとともに、対応を含め調整を図っております。

次に、点検検証する視点や、情報を出してもらう

ようにしたり、意見を出したりする視点が欠落していたはずだがどうかについてであります。犯罪捜査等は市の行政範囲ではないとの考え方もあることから、議員ご指摘のような点検検証や意見を出したりする視点がなかったことは、否めません。

次に、警察に対し常に強い関心を寄せておく、市民から苦情相談があれば、通報して積極的に改善解決を図る、ひき逃げ事件等、発生件数や検挙率を定期的に公表してもらおうようにすることについてであります。

市と警察は互いに手を携えながら、市民の安全・安心のため連携を密にし、情報が適切に提供されますよう、さらなる調整を図ってまいりますとともに、今後においても適宜、情報提供等を行うとともに、対応を含め調整を図ってまいります。

また、平成 27 年（2015 年）第 2 回定例会において御答弁申し上げたとおり、一般的にはこれまで市民の安全・安心を守るため、統計情報や緊急時の犯罪情報の提供等、警察との連携を図ってきたところ

であり、今後も市民の安全・安心のために必要な情報が適切に提供されますよう警察と連携を密にするとともに、さらなる調整を図ってまいりますので、よろしく御理解賜りますよう、お願い申し上げます。